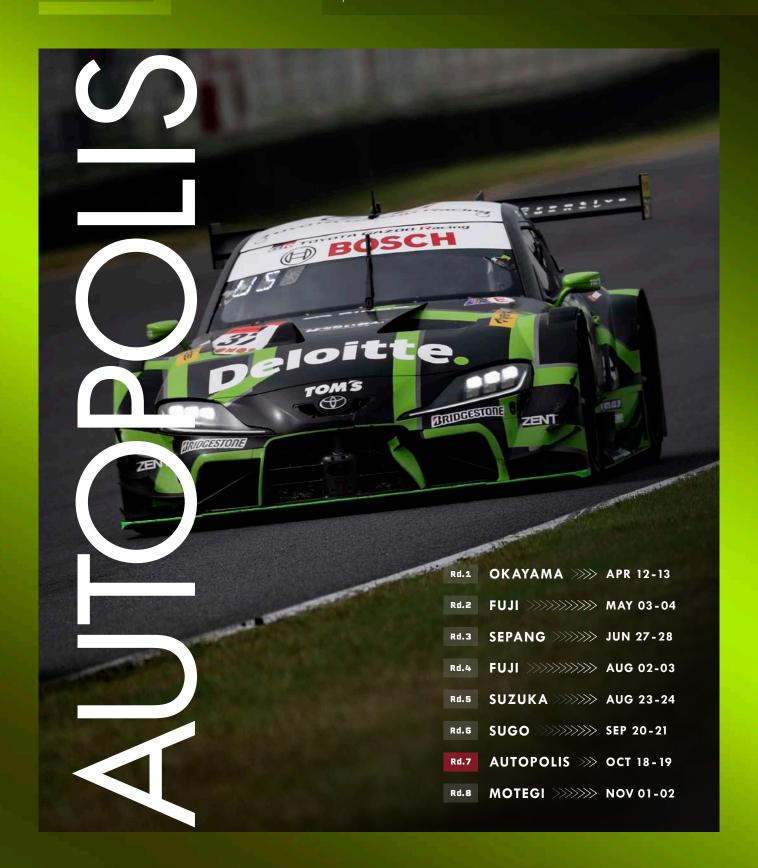
2025

SUPER GT RACE REPORT Rd.7 10.18[sat] - 19[sun]

[place] オートポリス(大分県日田市)

[weather] sat 晴れのち雨/sun 雨のち曇り

[spectators] 26,000人(sat 10,000人/sun 16,000人)





TOMS

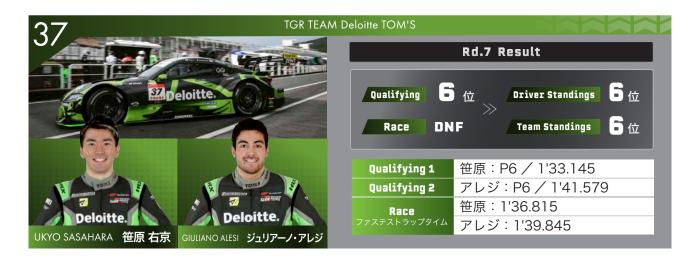


2025 AUTOBACS SUPER GT Round7 AUTOPOLIS GT 3Hours RACEが、10月18日(土)、19日(日) にオートポリスで行われた。#37 Deloitte TOM'S GR Supra (笹原右京/ジュリアーノ・アレジ) は、6番グリッドから一時トップを快走し、中盤も安定したペースで周回を重ねていたが、残り 1 時間を切ったところでエンジンパワーがダウンするアクシデントに見舞われ、悔しいリタイアを余儀なくされた。











QUALIFYING

天候: 曇りのち雨/気温: 21℃/路面温度: 23℃



不安定な天候のなか、 力強い走りを披露。 6番手で決勝に臨む。

シーズン7戦目となる今大会は、サクセスウェイトが半減し、ドライバーズポイント1点につき 1kgを各車が背負う。37号車は44kgとなり、燃料リストリクター制限がなくなった。また、チャンピオン争いを考えるとオートポリスで高得点を獲得し、最終戦に向けて少しでも有利な状態に持ち込みたいところ。37号車のメンバーも気合いが入っていた。

予選日の天候は不安定で時折、雨がパラつくなか、GT300 クラスで中断があったため、予定の時刻よりも遅れてQ1が始まった。いつ雨が強くなるか分からない状況のなかで笹原がタイムアタック。5番手でQ2進出を果たした。

続いてアレジの出番だったが、Q2が始まる直前に雨が本降りとなり、路面が濡れ始めた。アレジはウエットタイヤを装着してコースインし、最終的に6番手のタイムを記録した。ライバルの先行を許したが、逆転の可能性が十分にあるポジションから、決勝レースに臨む。

Race

天候:曇り/気温:22°C/路面温度:25°C

好ペースで追い上げ、 一時トップを快走するも、 アクシデントに見舞われ悔しい結果に。



今回は3時間レースのため、途中2度のピットストップが必要となる。6番グリッドの37号車は、笹原がスタートを担当。序盤にセーフティカーが導入される場面があったが、17周目にレースが再開されると次々に前のマシンを捉えていき、28周目にトップに浮上。そのまま後続を引き離す勢いをみせた。

35周目に1回目のピットストップを行い、笹原が継続して第2スティントも担当。異なる戦略をとったライバルにトップを奪われたが、すぐに背後につけ、チャンスをうかがいながら周回を重ねた。

残り1時間10分を切った61周目に2度目のピットストップを行い、笹原からアレジに交代。GT300と混走しながら激しいポジション争いを繰り広げた。しかし、残り1時間を切った66周目に急激にペースが落ち、緊急ピットイン。フロントの吸気口に付着した草やゴミを取り除いたが症状は改善されず、70周目に再びピットに戻ってリタイアを選択した。

TOM'S



良いレースをしていただけに 悔しいオートポリス大会でした。 ドライバー 笹原 右京

今回はクルマが素晴らしく速く、うまくタイヤを コントロールしながら追い上げることができまし た。第1スティントはすごく良かったのですが、 第2スティントでは別の作戦をとっていたライバ ルに先行される展開となりました。最終的に逆転 できると信じていたので、無理に争わずに燃費の セーブを意識していました。アクシデントに関し ては残念ですが、原因をしっかりと調べる必要が あります。



リタイアは残念だが、 これがレースです。 ドライバー ジュリアーノ・アレジ

右京が素晴らしい走りをしてくれていたので、そ の流れで僕も良い走りをしたいと思っていたので すが、エンジンのパワーがダウンするアクシデン トに見舞われました。ペースが良くても悪くても、 結果が残らないと意味がないのでそこは残念です。 でも、これがレースです。チャンピオン獲得の可 能性はかなり難しくなりましたが、最終戦はいつ もと変わらずトップを目指すだけなので、いい戦 いができるように頑張りたいです。



残念という気持ちが大きいです。スタートから右京が素晴らしい走りをしてトップに 立ってくれましたし、作戦もすごく良かった。中盤はライバルが先行していましたけど、 最終的にトップに戻れる自信があったので、3番手に下がっても焦らずにレースができ ていました。ただ、エンジンのパワーが上がらないトラブルが出て、ピットに戻す選択 をしました。



チームオーナー 舘 信秀

今回の 37 号車は非常にペースが良かったですし、1 号車も順位を上げてきていて、先 週のスーパーフォーミュラに続いて、TOM'S のワンツーフィニッシュに期待していま した。詳しいことは調べなければいけませんが、ゴミや芝生の草が詰まってパワーが上 がらない症状が起きました。リタイアになったことは残念ですが、最終戦が面白くなっ たと思っています。もてぎでは良い走りができるように精一杯頑張ります。 次戦も、たくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Deloitte.



































